

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名 こども支援センターえがお

公表日

R8年 3月 19日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1	・部屋が狭い。 ・半分に仕切っている時は、子どもと職員で部屋が狭い時がある。	・制度上の基準は満たしています。 ・今ある環境を工夫をしながら支援していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0		・制度上の職員配置は満たしています。今後もより適切な支援ができるよう、努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	・カードの位置は子どもたちが見やすい高さになっている。	・引き続き、お子さんの特性に応じた環境を整え、必要に応じて柔軟に対応できるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・定期的に棚の中を整理したり、汚れている箇所がないかみて掃除している。	・引き続き掃除を行い、清潔な環境を提供できるように努め、子ども達の活動に合わせた空間作りをしていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	・個別の環境設定が一人ひとりになっており適切な支援をしている。 ・個別課題の部屋は集中できるように仕切っている。	・お子さんの特性に応じた環境を整え、必要に応じて柔軟に対応できるようにしていきます。
	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	0	・日案は毎日反省して、次に活かせるようなしている。	・今後も振り返りを行い、次への支援に活かしていきます。

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2		・保護者向け評価の内容を真摯に受け止め、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	・毎日、支援後にふりかえりを行っている。 ・振り返りでは意見を出し合って、よりよい業務になるようにしている。	・今後もスタッフが意見を伝えやすい環境を整え、より良い業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	6	・第三者評価は受けていない。 ・第三者評価はうけていない。	・現時点では、外部評価の実施予定はありませんが、引き続き内部での振り返りを重ねながら、支援の質の向上に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0		・今年度、全員がオンライン研修も含め外部研修に参加しました。今後も多くの学びの機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0		・令和7年4月より支援プログラムの公表をしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	・保護者からの聞き取りだけでなく、普段の子どもたちの様子も細かく記録している。	・アセスメントでは保育所等にも聞き取りを行い、支援に活かしています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・支援に入る時には、必ず引き継ぎをするようにしている。	

## 適切な支援の提供

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0		
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・役割を分担して行い、1人で考えるのが難しい時は他の人に意見をもらっている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	・先月の活動を見て、同じ活動にならないようにしている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・毎朝、朝礼で報告等を行っている。 ・日案は前日に伝えるようにし、引き継ぎは朝の15分で行なっている。	

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日に遊んだ玩具を消毒しながら、その日の活動等の振り返りを行い、次の活動に活かすようにしている。</li> <li>・次に活かせるような意見を出し合い、記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎に出た職員の振り返り（意見）が聞けない場合があるため、意見を聞ける体制を作っています。</li> </ul>
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の先生方と話す機会がある時は園での様子はどうかも聞くようにしている。</li> </ul>	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0		

関係機関や保護者との連携

27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・相談支援専門員と役割分担しながら、お子さんがスムーズに移行支援できるように支援している。	
28	(28～30は、センターのみ回答)	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会を通し、地域全体の支援の質向上ができるよう、研修企画・運営を行っている。</li> <li>・他の児童発達支援センターと定期的に意見交換や支援について話し合う時間を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、関係機関との連携を深め、地域全体で支援の質を高めていけるよう協議を進めていきます。</li> </ul>
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	0		
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会の子どもの事業所等連絡会や子育て会議に参加し、関係機関との情報共有や意見交換を行っています。協議会で話し合われた内容等を伝達し、情報共有できるようにしていきます。</li> </ul>
31	(31は、事業所のみ回答)	6	0		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	7	・センターとして地域の保育所等と一緒に活動する機会は今は設けていないが、並行通園児の保育所等とは連携しながら支援している。	個々では交流があるが、センターとしての取り組みがないため、来年度以降取り組みの工夫を図ります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	・研修会は現在開催できていないが、情報提供は行っている。	玄関先に研修会などの情報提供は行っていますが、現在、家族向けの研修は開催できていません。今後どのような形で実施できるか検討していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	・3カ月に1回は必ず面談を希望されるか家族等に確認し、希望された場合は相談内容に応じて参加者の調整を図っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	8	・今は保護者会等を開催していないが、ゆくゆくは開催できるようにしたい。	今年度、放課後等デイサービスにて保護者同士のおしゃべり会を実施しました。来年度は児発においても保護者同士が交流できる場を検討し、必要に応じて情報提供などの支援を進めていきます。また、きょうだい支援についても、どのような形で支援できるか考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	・今年度よりホームページを活用して予定表の配信をしている。 ・毎月「わくわく予定表」を発行している。また、前月の活動時の写真を掲載し、お子さんの様子等が分かるようにしている。	今年度より、予定のみですが毎月のお便りをホームページから確認できるようにしました。尚、法人内の緊急連絡メールを活用し連絡体制の確認や連絡事項の配信を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7	・事業所の行事に地域の方を招待することはしていないが、法人の行事に招待している。	地域とのかかわりを深める方法を検討し、可能な範囲で地域に開かれた事業運営を考えていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0		BCPを基に火災訓練を毎月実施しているほか、防犯・水害・地震を想定した訓練も定期的に行っています。法人内の事業所とも年2回合同で避難訓練を実施し、緊急時に備えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	・確認の際は看護師にもしてもらい、専門職からの意見ももらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	・看護師、栄養士等の専門職にも意見をもらい、安心・安全に提供できるようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1		安全計画は作成されていますが、事故や災害はいつ起こるか分からず、繰り返し研修や訓練を重ねて行きます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	・ヒヤリハットがあった際は次の日には必ず全体に報告し、事故予防に繋げている。	ヒヤリハットで出た内容は事故予防委員会にて分析し、再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		今後も虐待防止研修を定期的に行い、虐待が起こらないようにしていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	1	・現在、身体拘束を行っているお子さんはいないが、やむをえず行う場合は身体拘束適正化委員会等で話し合って決めている。 ・現在対象となるお子さんはいません。	現在、対象のおこさんはいませんが今後も身体的拘束等適正化の研修を定期で行い組織として取り組んでいきます。